

松戸市立病院後期臨床研修プログラム（内科）

1. 研修対象者：初期臨床研修終了者で以下の内科専門領域の研修を希望する者。
2. 研修期間：原則として1年～3年。
3. 研修カリキュラム

当科は、以下の1) 、 、 の専門医が集まり診療しているため、各領域の専門医を目指すことを基本としている。しかし、初期研修後内科専門医を目指す目的であるならば、各領域に習熟後、補完的な目的で消化器科、循環器科、血液内科や神経内科に後期研修することは調整可能である。さらに、一般救急の手技（挿管、中心静脈路確保等）の習熟のため、初期の一定期間救急部で研修することも調整可能である。

1) 経験する疾患

内分泌・代謝・糖尿病疾患（糖尿病、下垂体、甲状腺、副甲状腺、副腎疾患等）
免疫・アレルギー・腎臓病疾患（膠原病、気管支喘息、糸球体腎炎等）
呼吸器疾患（肺感染症、慢性閉塞性肺疾患、肺癌、間質性肺炎等）
内科全般（急性期および慢性期の内科疾患の全身管理）

2) 習熟すべき手技

内分泌・代謝・糖尿病における救急手技、負荷試験および甲状腺エコーおよび穿刺吸引細胞診等の実施と診断および治療
免疫・アレルギー・腎臓病疾患の各種検査および腎生検等により診断し急性期および専門的治療
呼吸器疾患の診断（気管支鏡、生検、およびCTガイド下肺生検等）と専門的治療および急性期・慢性期管理（人工呼吸器等）
消化器検査（腹部エコー、胃透視・注腸、上部内視鏡等）の習熟希望があれば、研修中に消化器科の検査枠にて研修する。

3) その他

研修に応じて、関連学術集会・学会で発表、論文投稿することが可能である。

4. 研修システムの特徴

上記3. 1) - の各疾患全般の臨床研修を積むことが可能である。なお、当内科は、日本内科学会、日本内分泌学会、日本リウマチ学会、日本呼吸器学会、日本臨床腫瘍学会の教育施設認定を受けており、それぞれの臨床研修プログラムに沿い、各学会専門医取得を目指すことができる。

5. 指導スタッフの概要

- ・ 内科部長 太枝 徹（日本内分泌学会代議員・指導医・専門医、日本糖尿病学会専門医、日本内科学会指導医・認定医）
- ・ 医長 時永耕太郎（日本内分泌学会専門医、日本内科学会指導医・専門医）
- ・ 医長 海辺剛志（日本リウマチ学会専門医、日本アレルギー学会専門医、内科学会

指導医・専門医)

- ・ 医長 森谷哲郎 (日本呼吸器学会指導医・専門医、日本気管支学会認定医、臨床腫瘍学会暫定指導医、日本癌治療学会臨床施設登録医、日本内科学会指導医・専門医)

6. 研修終了後の進路

後期臨床研修終了後、希望者は千葉大学大学院細胞治療学(第2内科)、あるいは加齢呼吸病態制御学(呼吸器内科)に入学し、臨床研究を行い、学位取得を目指すことが可能である。